

# 第42期株主通信

平成20年4月1日から  
平成21年3月31日まで

## 株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.consec.co.jp/">http://www.consec.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp>

**CONSEC** 株式会社コンセック

## 時代のニーズに応える技術で 次世代の世界へ飛翔します。

### CONTENTS

株主の皆様へ	1
グループ企業紹介	3
トピックス	4
連結財務情報	5
連結財務データ	7
単独財務情報	8
株式の状況	9
会社の概況	10

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第42期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告をかね、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国の経済は、米国の金融危機に端を発した世界的経済の失速が顕著になる中、株式市場の急落や急激な円高が企業収益を圧迫し、生産性の減退、設備投資の抑制、雇用情勢の悪化等、あらゆる業種において景気は急速に後退いたしました。当社グループの関連する建設土木業界におきましても、不動産流動化による開発事業が急速に冷え込み、開発計画の見直しや既に着工した工事の中止・延期等があり極めて厳しい状況に推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、建設土木分野においては建物のリニューアル市場に軸足を置き、耐震補強工事のみならず、ダイヤモンドワイヤーを応用した切断工法をさらに進化させた乾式工法や、金属切断工法の普及を目指し、プラント解体分野にも需要獲得に努めてまいりました。また収益基盤の多角化を推進し、工場設備関連事業では営業組織体制の強化、介護事業では新規事業所の開設、中国子会社では現地生産移管機種の増加、IT関連事業では電算ソフトの共同開発・連携を推進し、当社グループ企業のシナジー効果を促進してまいりました。

この結果、当期の決算概況は以下のとおりとなりました。

区 分	第42期 (当期)	第41期 (前期)	対前期 増減率
売 上 高(連結)	8,793百万円	10,016百万円	△12.2%
経 常 利 益(連結)	△101百万円	136百万円	—
当期純利益(連結)	△584百万円	35百万円	—

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

当連結会計年度の売上高は87億93百万円（前期比12.2%減）となりました。グループ企業関連事業は伸びましたが、主力の建設土木関連需要の後退による売上の減少を補うには至らず、損益面につきまして、徹底したコストの削減、営業費用の圧縮に鋭意努力してまいりましたが売上高の減少による利益の低下を補えず、営業損失は85百

万円（前期は営業利益1億62百万円）、経常損失は1億1百万円（前期は経常利益1億36百万円）となり、当期純損失は投資有価証券評価損1億72百万円、減損損失1億2百万円、たな卸資産評価損53百万円など合わせて4億1百万円を特別損失に計上したことにより5億84百万円（前期は当期純利益35百万円）となりました。

事業区分別売上高の概況は以下のとおりとなりました。

事業区分	第42期 (当期)	第41期 (前期)	対前期 増減率
切 削 機 具 事 業	2,833百万円	3,505百万円	△19.2%
特 殊 工 事 事 業	1,392百万円	1,486百万円	△6.4%
建 設 ・ 生 活 関 連 品 事 業	3,159百万円	3,744百万円	△15.6%
工 場 設 備 関 連 事 業	706百万円	653百万円	8.0%
そ の 他 の 事 業	705百万円	629百万円	12.1%
合 計	8,793百万円	10,016百万円	△12.2%

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

#### 【切削機具事業】

金融不安を背景に新規建設需要が低下したことや、年度末をむかえても工事物件の延期や見直しが続いた影響を受け、コアドリル、ワイヤソーとも買換え需要が落ち込みました。また工事需要全体が大きく低下したためビットやブレード等のダイヤモンド切削消耗品の売上も減少し、売上高は28億33百万円（前期比19.2%減）となりました。

#### 【特殊工事業】

高炉改修工事等ダイヤモンドワイヤーを用いた金属切断分野の需要は伸びましたが、マンションや一般ビル建設工事需要が大きく低下し、アンカー工事やボンド工事等の売上が減少したため、全体の売上高は13億92百万円（前期比6.4%減）となりました。

#### 【建設・生活関連品事業】

新規建設工事が落ち込んだ影響で建設用材料消耗品、一般住宅資材の売上が減少しました。景気の先行き不安により機械工具や生活関連品も伸びず、売上高は31億59百万円（前期比15.6%減）となりました。

#### 【工場設備関連事業】

自動制御盤、配電盤等の製作販売の工場設備関連事業は営業組織体制の強化により受注が伸び、売上高は7億6百

万円（前期比8.0%増）となりました。

#### 【その他の事業】

介護事業では、デイサービス・ケアサービスの新規事業所の開設等により順調に拡大し、また、IT関連事業もグループの連携によりソフトウェア受託開発が進展したことにより、売上高は7億5百万円（前期比12.1%増）となりました。

今後の我が国経済は、世界規模の景気後退により急速な回復は見込めず、経済不況の長期化が懸念されます。当面は大手企業中心に厳しい在庫調整が浸透する中、設備投資の抑制が続き、価格競争はさらに激化する等経営環境は予断を許さず、雇用情勢はますます深刻化し、個人消費の低迷が続くものと予想されます。

このような厳しい環境の中、当社グループといたしましては、本年6月に発売いたします新製品の市場投入により、新たなユーザーの深耕を図るとともに、高利益独自製品によるダイヤモンド切削事業分野のシェアの拡大強化を図ります。また、従来製品は中国生産により徹底したコストダウンを追求し、顧客ニーズに機敏に順応できる価格競争力を生み出し、海外販売の拡大を促進するなど販売流通経路の抜本的見直しや、国内取扱店と一体となった販売戦略を展開して需要獲得に全力を挙げてまいります。さらにグループ企業の特性を生かしつつ相互連携を強化し収益効果を高めるとともに、管理部門のより一層の効率化を図り、一般管理費の削減と営業費用の圧縮に努め、収益向上に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

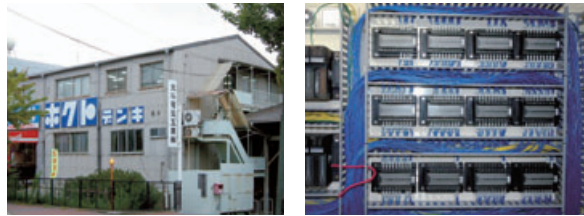
平成21年6月



代表取締役社長

佐々木 孝隆

北斗電気工業株式会社



大型運搬機器や汎用ボイラなど、機械装置の頭脳ともいえる制御盤のシステム構築を中心に、幅広い分野で独自の発想と卓越したノウハウで時代のハイテク技術にお応えしております。

株式会社サン・ホクト



各種製缶・板金・自動制御盤・配電盤等箱体の製作およびパンチングマシンによる精密板金加工を行っております。

株式会社サンライフ



広島・山口を中心とした、高齢者対象の介護サービス（デイサービス、ケアプランサービス、介護付有料老人ホーム）をご提供しています。介護の専門スタッフにより、高齢者およびご家族をサポートしていきます。

株式会社デンサン



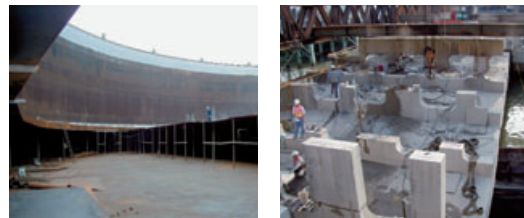
ソフトウェアの「受託開発」を専門とし、技術と業務スキルを駆使し、お客様の多種多様なニーズに応えるべく「お客様のためのシステム作り」を主眼にソフトウェア開発を行っております。

南通康賽克工程工具有限公司



中国・江蘇省南通市のダイヤモンド切削機具生産の工場では、主力商品のコアドリルの生産移管を高めており、コストダウンに効果が出てきております。

祥建企業股份有限公司



台湾における当社製品の卸売、特殊工事のアドバイザー業務、機械部品等の輸出入業務、原油タンクの補修工事・防煙ガラスの据付工事等を行っております。

## アンカードリル ADW-030H

これまでのコアドリルなどで培った技術を応用し、当社で開発した新分野の機種「ADW-030H型 アンカードリル」を発売する運びとなりました。

このアンカードリルは、病院・学校やオフィスなど騒音・振動を出せない場所での穴あけや、耐震補強工事のアンカー下穴あけ等の用途に威力を発揮します。

特長は、最大出力2600Wのコンパクトハイパワーモータを採用することによりハイスピード穿孔を可能としました。電子制御回路を搭載していますのでソフトスタート、定回転での制御が可能になり高い作業性を得るとともに、過負荷防止機能により一定以上の負荷がかかると自動的にモータの回転を下げモータの損傷を防ぐ機能も装備しております。

標準付属品の吸着式水処理パッドに集じん機を接続することにより、穴あけ時に発生する切削泥水を回収し現場を汚さずに作業することが可能になりました。



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	
		当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		4,801	5,165
固定資産		6,389	6,717
資産合計		11,190	11,882
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		2,674	3,336
固定負債		1,067	465
負債合計		3,741	3,801
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本		7,454	8,084
資本金		4,090	4,090
資本剰余金		3,965	3,965
利益剰余金	△	548	82
自己株式	△	54	△ 54
評価・換算差額等	△	103	△ 106
その他有価証券評価差額金	△	93	△ 112
為替換算調整勘定	△	10	6
少数株主持分		98	103
純資産合計		7,449	8,081
負債、純資産合計		11,190	11,882

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	
		当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高		8,793	10,016
売上原価		6,851	7,756
売上総利益		1,942	2,261
販売費及び一般管理費		2,027	2,099
営業利益	△	85	162
営業外収益		60	61
営業外費用		76	87
経常利益	△	101	136
特別利益		1	1
特別損失		401	7
税金等調整前当期純利益	△	502	129
法人税、住民税及び事業税		46	119
法人税等調整額		29	△ 27
少数株主利益		7	3
当期純利益	△	584	35

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	
		当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 179	312
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 177	△ 235
財務活動によるキャッシュ・フロー		401	△ 285
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 11	△ 1
現金及び現金同等物の増加額		33	△ 209
現金及び現金同等物の期首残高		734	943
現金及び現金同等物の期末残高		767	734

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

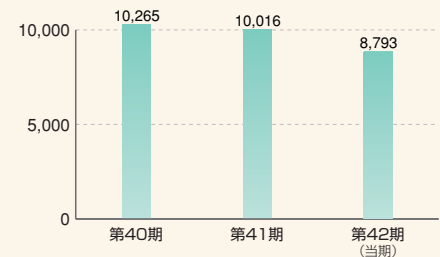
(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成20年3月31日 残高	4,090	3,965	82	△ 54	8,084	△ 112	6	△ 106	103	8,081
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 46		△ 46					△ 46
当期純利益			△ 584		△ 584					△ 584
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1
自己株式の処分		△ 0		0	0					0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						19	△ 16	3	△ 5	△ 2
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 0	△ 630	△ 1	△ 630	19	△ 16	3	△ 5	△ 632
平成21年3月31日 残高	4,090	3,965	△ 548	△ 54	7,454	△ 93	△ 10	△ 103	98	7,449

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

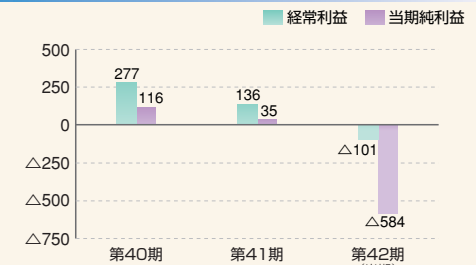
売上高

(単位:百万円)



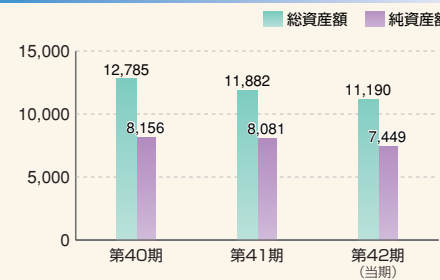
経常利益/当期純利益

(単位:百万円)



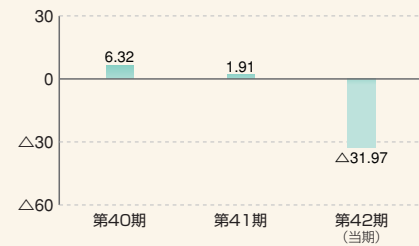
総資産額/純資産額

(単位:百万円)



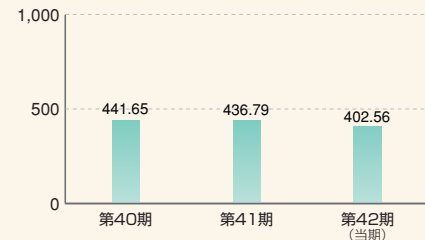
1株当たりの当期純利益

(単位:円)



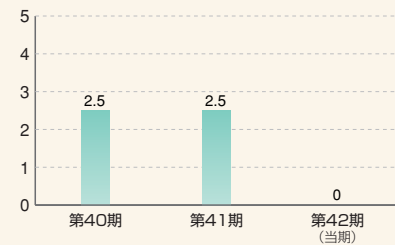
1株当たりの純資産額

(単位:円)



1株当たりの配当金

(単位:円)



単独貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	
	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	4,105	4,467
固定資産	6,425	6,810
資産合計	10,530	11,276
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	2,271	2,935
固定負債	892	361
負債合計	3,163	3,295
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	7,459	8,093
資本金	4,090	4,090
資本剰余金	3,965	3,965
利益剰余金	△ 542	91
自己株式	△ 54	△ 54
評価・換算差額等	△ 92	△ 112
その他有価証券評価差額金	△ 92	△ 112
純資産合計	7,368	7,981
負債・純資産合計	10,530	11,276

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

単独損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	
	当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	7,317	8,563
売上原価	5,700	6,620
売上総利益	1,617	1,944
販売費及び一般管理費	1,758	1,805
営業利益	△ 141	139
営業外収益	55	56
営業外費用	47	75
経常利益	△ 133	120
特別利益	—	1
特別損失	400	6
税引前当期純利益	△ 532	114
法人税、住民税及び事業税	30	98
法人税等調整額	26	△ 12
当期純利益	△ 588	28

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

単独株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

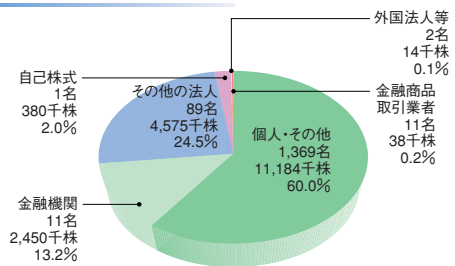
	株主資本						評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己 株式	株主資本 合計		
	資本 準備金	その他 資本剰余金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金					
平成20年3月31日 残高	4,090	3,552	413	91	△ 54	8,093	△ 112	7,981
事業年度中の変動額								
剰余金の配当				△ 46		△ 46		△ 46
当期純利益				△ 588		△ 588		△ 588
自己株式の取得					△ 1	△ 1		△ 1
自己株式の処分			△ 0		0	0		0
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)							21	21
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 0	△ 633	△ 1	△ 634	21	△ 613
平成21年3月31日 残高	4,090	3,552	413	△ 542	△ 54	7,459	△ 92	7,368

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

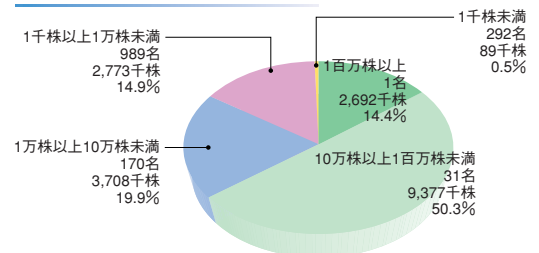
発行可能株式総数 28,600,000株  
 発行済株式の総数 18,640,112株  
 株主数 1,483名  
 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本鉱泉株式会社	2,692千株	14.4%
佐々木 秀 隆	910	4.9
佐々木 サ ト 丂	903	4.8
コンセック従業員持株会	788	4.2
株式会社もみじ銀行	583	3.1
株式会社損害保険ジャパン	434	2.3

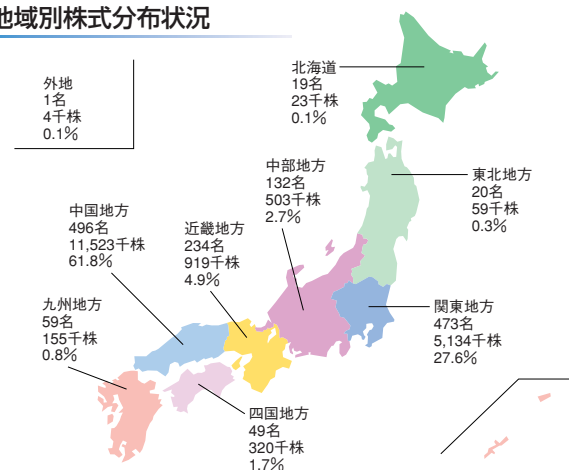
所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



地域別株式分布状況



会社の概要

社 名 株式会社 コンセック  
 (CONSEC CORPORATION)  
 本 社 所 在 地 広島市西区商工センター四丁目6番8号  
 TEL (082) 277-5451 (代表)  
 設 立 昭和42年11月6日  
 資 本 金 40億90百万円  
 従 業 員 数 連結：404名 単独：243名  
 ホームページ <http://www.consec.co.jp>  
 連結子会社 祥建企業股份有限公司(台湾・三重市)  
 北斗電気工業株式会社(広島県呉市)  
 株式会社サン・ホクト(広島県呉市)  
 南通康賽克工程工具有限公司(中国・江蘇省南通市)  
 株式会社サンライフ(広島市西区)  
 株式会社デンサン(広島市南区)

主な事業内容 当社グループは次の物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸等を行っております。

〔切削機具事業〕  
 穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品、特注機、切削関連機具等

〔特殊工事事業〕  
 アンカー工事、コアボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事、ジベル工事等

〔建設・生活関連品事業〕  
 建設機械・工具、建設資材、住宅・OA機器、生活関連機器等、不動産施設賃貸

〔工場設備関連事業〕  
 自動制御盤、配電盤、製缶、精密板金加工等

〔その他の事業〕  
 介護サービス、ソフトウェアの受託開発等

ネットワーク

支 店 東京、大阪  
 営 業 所 札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡、他21ヶ所  
 工 場 広島工場  
 物流センター 広島配送センター

役員

代表取締役社長 佐々木 秀 隆  
 取 締 役 吉 本 文 雄  
 取 締 役 千 田 稔  
 取 締 役 福 田 多喜二  
 取 締 役 原 田 文 栄  
 取 締 役 三 中 達 雄  
 常 勤 監 査 役 國 本 純 男  
 監 査 役 加 藤 公 敏  
 監 査 役 廣 本 邦 幸